

月/日	担当課(室)係名	電話	発表者名	その他資料配布先
8月19日(金)	兵庫県立歴史博物館 事業企画課	079-288-9011	次長 豊田幸雄 (事業企画課長 中川 渉)	県教育委員会記者クラブ 中播磨県民センター各報道機関

## 9月・10月のもよおしのご案内

開催日時	イベント名	イベント内容	会場	実施時間	料 金 (友の会会員)	受付期間 受付方法	備 考
7月16日(土)～ 9月11日(日)	特別展「立体妖怪図鑑 —妖怪天国ニッポンpart II—」	妖怪は、江戸時代の都市の人々のあいだでフィクションとして楽しまれるようになり、多くの妖怪画や玩具、娯楽などが生み出されました。近代に入ると、人形のコレクターたちが出現したことによって立体造形物への感覚が変容し、さまざまな形で妖怪は立体に表現されるようになります。本展では、妖怪の立体造形物に焦点を当てて紹介します。	ギャラリー	10:00～17:00 (入館は16:30まで)	一 般:1000円 大学生:700円 高校生:500円 小・中学生:無料		
9月4日(日)	地域講演会② 「戦国期播磨の守護家と諸勢力」 講師:小林基伸氏 (大手前大学教授・ ひょうご歴史研究室客員研究員)	16世紀前期の播磨では、赤松下野守家や別所氏などの有力諸家が地域権力として自立を強めていきます。それにたいし守護家は、中小勢力を被官に編成するなどして権力の再編をはかろうとしました。この講演では、これら諸勢力の動向を通して戦国期播磨の情勢を探ります。	ホール	14:00～15:30	300円 (友の会会員は 無料)	当日受付	定員100名 (先着順)
9月17日(土)	ひょうご歴史文化フォーラム 「播磨国風土記と古代の交通路」	近年さまざまな分野で研究が蓄積されつつある『播磨国風土記』について、考古学と歴史学の立場による2つの講演とともに公開討論を行ない、古代播磨の地域文化の特質解明をめざします。	兵庫県立 考古博物館	13:30～16:40	無料	当日受付 (10:00から 座席配布)	定員180名 (先着順)
9月18日(日)	歴史講演会③「赤穂藩浅野家と赤穂事件」 講師:小野真一氏(赤穂市教育委員会市史編 さん室市史編さん担当課長)	長直・長友・長矩と3代約50年続いた浅野赤穂藩の時代は、城の完成と城下町の繁栄、塩田の開拓と塩業政策の推進など、赤穂藩政が確立した時代でした。浅野家による赤穂藩政の概要と、浅野家による支配を瓦解せしめた赤穂事件の推移を紹介します。	ホール	14:00～15:30	300円 (友の会会員は 無料)	当日受付	定員100名 (先着順)
9月24日(土)	れきはくロープコンサート 出演:伊藤愛梨(ヴァイオリン) (協力:国際ソルタSEN姫路 ソンタクラブ)	音楽家を目指す新進の演奏者がパフォーマンスを披露します。午後のひととき、素敵な音色を聴きながら過ごしませんか。	ロビー	14:00～	無料	自由観覧	
9月25日(日)	歴はく倶楽部 「シデ棒をつくろう」	祭りの時に使われる「シデ棒」。シデ紙と竹を使って、本格的なシデ棒(ミニサイズ)をつくってみましょう。	ロビー	①10:00～11:30 ②13:00～14:30	100円	当日受付 (ただし受付は、 ①11:30まで、 ②14:30まで)	午前・午後各20組 (先着順)小学4年生 以下のお子様は要保 護者同伴
9月27日(火)	「自分史の会」 講師:端信行(当館名誉館長)	自分史づくりのお手伝いをします。私たちひとりひとりの人生はかけがえのないものです。歴史の中で自分の歩みを振り返ってみませんか。	体験ルーム	14:00～15:30	無料	当日受付	
10月1日(土)・ 2日(日)	「ひょうごミュージアムフェア 2016」	兵庫県内のミュージアムの魅力を県内外に広く発信していくことを目的として、兵庫県博物館協会と連携、協力してフェアを開催します。親子向けのものづくりワークショップやパネル展示等によるPR活動を行います。	神戸ハー バーランド スペースシア ター	10:00～16:00	無料	当日受付	
10月9日(日)	れきはくアカデミー④ 「身近な近代化遺産—播磨の鉄道遺産—」 講師:鈴木敬二(当館学芸員)	わが国の近代化の途上で建設された「近代化遺産」の代表として、鉄道遺産を紹介します。日頃、私たちが何気なく目にする古い駅や橋梁、トンネルなどを紹介し、そこから播磨を中心に兵庫の鉄道発達史をひも解きます。	ホール	14:00～15:30	無料	当日受付	定員100名 (先着順)
10月15日(土)～ 11月27日(日)	特別展「描かれた大正モダン・キッズ—婦人之 友社『子供之友』原画展」	『子供之友』は、婦人之友社の創業者である羽にもと子・吉一夫妻によって1914(大正3)年に創刊された幼年絵雑誌です。本展ではその誌面を飾った画家達の原画を一堂に展示し、『子供之友』の芸術性を紹介するとともに、絵雑誌という子供に向けた美術の近代化から社会の変遷を見ていこうとするものです。また、合わせて大正から昭和にかけての子供文化について紹介します。	ギャラリー	10:00～17:00 (入館は16:30まで)	一 般:1000円 大学生:700円 高校生:500円 小・中学生:無料		
10月15日(土)	特別展「描かれた大正モダン・キッズ—婦人之 友社『子供之友』原画展」展覧会ガイド 講師:松本育子氏 (刈谷市美術館館長代理)	本展企画者である刈谷市美術館館長代理の松本育子氏に展覧会の解説をしていただきます。	ギャラリー	①13:30～、 ②15:00～	特別展の観覧料金が 必要	当日受付	
10月19日(水)	友の会研修旅行「屋島・丸亀を訪ねる」	讃岐国分寺跡資料館や丸亀城、屋島寺宝物館などを訪ねます。	香川県	10:30～18:30	7500円 (入場料・屋食費・ 保険込み)	往復はがきで申込み 受付期間は 9月1日(木)～ 9月14日(水)まで	定員40名 (友の会会員のみ応 募可、多数の場合抽 選)
10月25日(火)	「自分史の会」 講師:端信行(当館名誉館長)	自分史づくりのお手伝いをします。私たちひとりひとりの人生はかけがえのないものです。歴史の中で自分の歩みを振り返ってみませんか。	体験ルーム	14:00～15:30	無料	当日受付	
10月30日(日)	特別展ワークショップ 「ちゆるるん絵本作り—開くとちゆるるちゆるるを 食べる仕掛け絵本—」 講師:村上祐喜子氏	手作り絵本作家の村上祐喜子氏による、飛び出す仕掛け絵本を制作するワークショップです。麵を食べる動物が描かれた手作り絵本キットを使って、自分だけの絵本を作ります。子どもから大人まで楽しめます。	体験ルーム	10:00～16:00	500円	往復はがきにて申込み 10月11日(火)まで	定員20名(事前申込み、応募多数の場合は 抽選)
10月30日(日)	歴はく倶楽部 「石ころに絵を描こう」	きれいに洗った石ころに自分の好きな絵を描いてみましょう。丸や三角、四角、どんな形の石ころアートができるかな?	大手前公園 (姫路国際交 流フェスティ バル)	10:00～15:00	無料	当日受付	

